

＜患者様へのお知らせとお願い＞

(Ver.1.0 令和4年1月12日作成)

当院では、腰椎圧迫骨折と D-dimer 値の関連性を調査した臨床研究を実施しています。このため受診された患者様に調査・研究へのご協力をお願い申し上げます。

- ◇ 研究課題名：救急外来において、D-dimer 上昇は腰椎圧迫骨折の存在を予測できるか？
(課題番号：2021012)
- ◇ 研究期間：2017年11月より2019年10月
 - 目的：血中の D-dimer 値が腰椎圧迫骨折の診断のスクリーニングツールになり得るかどうか検討した。
 - 対象：2017年11月より2019年10月までの3年間に救急外来より腰椎 MRI を撮影依頼した 191 例を後方視的に検討した。
 - 方法：感染症、転移性脊椎腫瘍、凝固障害などともとも D-dimer 値に異常の可能性が高い症例、救急外来において D-dimer 値を測定していない症例を除外した 101 例を対象とした。腰椎圧迫骨折急性期の診断は MRI を用い、入院時採血で測定した D-dimer 値を含む各種因子を検討した。検討には、多変量解析を用いて診断した。
 - 使用する診療情報：患者基本情報、画像データ、血液データなど、通常の診療のために実施された結果を利用した。

(注：通常診療での検査結果や臨床経過など。新たに追加取得するのではない点を明記)

- ◇ 情報を共有する範囲：共同研究機関名なし
- ◇ 倫理委員会の承認について
 - (注：承認年月日を明記)
 - 予想される研究の効果と副作用：本研究は診療のために実施された検査の結果を二次利用する観察研究であるため、有害事象は発生しないと考えられる。
 - 人権、プライバシーの保護：画像データ、血液データなどから個人が特定されることはないと思われます。
- ◇ 患者様への費用負担について：なし
 - 学術発表の予定：日本救急医学会総会、日本脳神経外科学会などで発表予定、および英文誌に投稿予定

(注：個人を特定できる情報は完全に保護され公表されることがない点を明記)

- ◇ 知的財産権の帰属
- ◇ 収集した情報の将来の二次利用の有無
- ◇ 研究参加の辞退・同意撤回について

(注：同意されなくても治療上の不利益を生じることは一切ないことを明記)

- ◇ 研究実施の資金・利益相反：なし

課題番号：2021012

◇ 研究組織

研究責任者 杉江 亮 脳神経外科

尚、この研究への参加を希望されない場合やご質問がある場合は、下記担当医までご連絡ください。

問い合わせ先

研究責任者 杉江 亮

医仁会武田総合病院 脳神経外科

氏名 杉江 亮